

目 標	音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
-----	---

●学習内容

1 学期	2 0 時間	2 学期	3 0 時間	3 学期	2 0 時間
・ヴォイス・アンサンブルを楽しもう 【表現・歌唱】	4	・表現を工夫していろいろな楽器を演奏しよう 【表現・器楽】	10	・演奏会を開こう 【表現・器楽・歌唱・】【鑑賞】	20
・ボディ・パーカッションに挑戦しよう 【表現・器楽】	2	・表現を工夫してヴォイス・アンサンブルをしよう 【表現・歌唱】	10		
・ギターの弾き歌いをしよう 【表現・器楽】	7	・我が国の伝統音楽や世界の諸民族の音楽を知ろう 【表現・歌唱】【鑑賞】	10		
・編曲に挑戦しよう 【表現・創作】	4				
・世界の諸民族の音楽に親しもう 【鑑賞】	3				

教材
教科書:「MOUSA2」教育芸術社 自主作成教材(プリント)

授業の進め方
【表現・歌唱、器楽】歌唱(独唱、合唱など)、器楽(ギター、箏など)の実技では教科書、プリント教材を使用し、基礎的な技能の習得を目指します。 【表現・創作】創作では、自分なりに音のつながりや、リズムなどの要素について考え創作する技能を学びます。 【鑑賞】鑑賞では、音楽を聴いたり、映像を観るとともに、文化的・歴史的背景などについても学びます。 表現分野では実技課題に取り組みます。学期の終わりには実技テストを実施します。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる(できる) ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いている。	・音楽の幅広い活動に関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。 ・自らの学習状況を把握し、理解を深め、技能の向上にむけて学習しようとしている。
	習得する(わかる) ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性についておおむね理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能をおおむね身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考えている。	・主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組もうとしている。
評価方法	実技テスト(歌唱、器楽)、課題提出(創作)、ワークシート(歌唱、器楽、鑑賞)	ワークシート、学習記録、演奏実技	ワークシート、学習記録、授業の取組状況

【表現】歌唱・器楽

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	●以下の事項について理解している。 ・曲想と音楽の構造や歌詞, 文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果 ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果 ・様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性 ●以下の技能を身に付けている。 ・曲にふさわしい発声, 言葉の発音, 身体の使い方などの技能 ・他者との調和を意識して歌う技能 ・表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現、器楽表現を創意工夫している。	・歌唱、器楽の学習活動に関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。 ・自らの学習状況を把握し、理解を深め、技能の向上にむけて学習しようとしている。
	習得する (わかる)	上記事項についておおむね理解し、技能を身に付けている。	上記の事項について、自己のイメージをもって歌唱・器楽表現をしている。	・主体的・協働的に歌唱、器楽の学習活動に取り組もうとしている。

【表現】創作

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・創作表現に関わる知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに創作表現を創意工夫している。 ・様々な音素材や様式, 表現形態などの特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・創意工夫や表現上の効果を生かした創作表現をするために必要な技能を身に付けている。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫している。	・創作の学習活動に関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。 ・自らの学習状況を把握し、理解を深め、技能の向上にむけて学習しようとしている。
	習得する (わかる)	上記事項についておおむね理解し、技能を身に付けている。	上記の事項について、自己のイメージをもって創作表現をしている。	・主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。

【鑑賞】

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・音楽の美しさと音楽の構造との関わりについて理解している。 ・芸術としての音楽と文化的・歴史的背景, 他の芸術や文化との関わりについて理解している。 ・現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴について理解している。 ・音楽と人間の感情との関わり及び社会における音楽に関わる人々の役割について理解している。	・曲や演奏に対する評価とその根拠について考え音楽のよさや美しさを自ら深く味わって聴いている。 ・文化や芸術としての音楽の意味や価値について考え音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 ・音楽表現の共通性や固有性について考え音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	・鑑賞の学習活動に関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。 ・自らの学習状況を把握し、理解を深めようとしている。
	習得する (わかる)	上記事項についておおむね理解している。	上記事項についておおむね理解している。	・主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。